

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課・連絡先
1	旧幡豆郡3町との合併後の西尾市財政状況と公共施設の老朽化対策について〔ハツ面〕	<p>合併から4年が経過し、西尾市行政は何事もなく円滑に行われているように見受けられます。しかし、市長の施政方針の中に「少子高齢化や公共施設の老朽化など、時代は移り変わり直面する問題は多様化している」とあります。これについて質問します。</p> <p>【質問1】 最初に、西尾市の財政状況について、どのような状況であるのかお聞かせください。もし、台所状況が苦しい状態であるのなら、旧幡豆郡3町の負債を抱え込んだために、このような状況を招いたのではありませんか。</p> <p>【質問2】 「公共施設などの老朽化対策に係る経費の増加が見込まれる」と述べていますが、これも旧幡豆郡3町における対策の遅れによるものではないでしょうか。また、市では「新たなまちづくりの出発点」をテーマに掲げる公共施設配置事業が進められ、民間企業を活用するPFI事業によって、質の高い公共サービスを提供していくとのことですが、これはどのような手法であり、どのように進められていくのかをお尋ねします。もし、この手法がうまく行かなかった場合、西尾市の財政に負担になることはないのでしょうか。</p>	<p>【質問1】 西尾市の財政状況については、自治体の財政状況を表す指標として使用されます「財政力指数」を基に説明させていただきます。 この「財政力指数」は、1.0を上回るほど財源に余裕があるとされています。平成26年度の西尾市の財政力指数は、0.99でございました。愛知県及び西三河での状況は、財政力の高いほうから数えて、県下では、38市中13位であり、昨年度から順位が8つ上がっています。また、西三河では、9市中7位であり、昨年度と比較し2つ上がり、6位の岡崎市とは同率となっており、堅調な財政状況であると認識しております。</p> <p>【質問2】 西尾市が公共施設を再配置する5つの理由は、「少子化・超高齢化」「施設の一斉老朽化問題」「合併に伴う重複施設の解消」「市民の大きな期待」「厳しい財政状況」であります。確かに、建設後の年数が古い建物の割合は旧幡豆郡3町の方が高いのですが、今回の第1次実施計画では「建物の安全性の確保」を最優先課題としています。ちなみに第1次実施計画の対象施設は、西尾地区が15施設、一色地区が13施設、吉良地区が10施設、幡豆地区が3施設となっています。 次にPFI事業についてであります。PFIとは、民間の経営能力と技術力を活用し、公共施設の設計・建設・維持管理・運営を長期に一括で発注する、国が成長戦略の一つとして進めている公共事業の手法であります。 西尾市では、公共施設の問題を行政だけでなく民間企業の創意工夫などを活用して解決していくために、今回、5つの再配置プロジェクトにPFI事業の新方式を導入しました。現在は、本年3月末に公表しました募集要項に基づき、今年度末までに事業者が選定できるように企業との対話などを進めているところであります。市民の皆さまには来年1月17日に公開プレゼンテーションの形で応募者の企画提案の内容を披露させていただきます。PFI事業で大切なことは、行政が民間企業の業務状況を把握し、適切な監視を継続することです。このため、今回のPFI事業では、行政だけでなく外部有識者による監視業務も予定しています。 また、財政負担につきましては、そもそも公共施設再配置自体が公共施設の総量を減らす取り組みでありますので、次世代の財政負担の軽減を図ることになります。 PFI事業については、適切な監視業務に基づき、市議会の承認を受けた予算で毎年度、支払うこととなりますので、市の財政負担につながらないと考えています。</p> <p style="text-align: right;">（次ページに続きます）</p>	<p>財政課</p> <p>資産経営課</p>

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課・連絡先
3	安全とうるおいのある環境づくり （鶴城公園の整備）について 〔鶴城〕	<p>市長は、市民の憩いの場である公園整備の必要性を述べ、「緑あふれる魅力的な公園づくりに努めてまいります」と言っています。</p> <p>さて、鶴小校区にある鶴城公園は、戦前より西尾市民の憩いの場として親しまれています。昭和58年に西尾市立図書館の建物が建てられた際には、公園敷地も拡張し、テニスコートなどが新設されました。そして、20年ぐらい前には鶴城公園整備計画も策定されました。しかし、多額の予算を要したため、その計画は中断されたままとなり、50年以上前に造られた砂場はそのまま放置されるなど一体感のない、景観の良くない公園となっています。</p> <p>【提案・要望】 砂場の撤去や遊具の適正な配置、ゲートボール場跡地の利用など、広い敷地を有効に使えるような最低限の整備によって、緑あふれる魅力ある公園にすることができないでしょうか。そうすれば、西小校区や鶴小校区の住民が憩いを求めて気軽に訪れ、一時を楽しめるような公園ができると思います。</p> <p>また、怪我防止の素材を使用するなど安全面に配慮した遊具を設置して子どもたちが伸び伸びと遊べる公園として、市内の施設で最も利用度の高い図書館を訪れる人も憩える公園にしたらいかがでしょうか。</p> <p>市長のお考えをお聞きします。</p>	<p>【提案・要望】 鶴城公園は、郷土の歴史と文化の香りが漂う市の象徴的な公園として、古くから親しまれている所であります。</p> <p>ご意見にありましたように、長い間に公園を取り巻く環境も随分変わり、施設の改修が必要であると認識しております。</p> <p>ゲートボール場の有効利用、遊具やテニスコートなどの老朽化または公園施設のバリアフリー化など課題は山積しておりますが、今年度は砂場の撤去、遊具の更新、ベンチの再配置など一部施設の改修を行いまして、子どもたちが伸び伸びと遊べ、木々の緑や木陰をゆっくり楽しめるような公園にしていきたいと考えております。</p>	公園緑地課
4	安心できる暮らし、快適な暮らし （外国人との共生）について 〔鶴城〕	<p>【質問】 鶴城小学校区は、外国人が多数居住する地域です。そのため「外国人との共生を考える会」を通して、町内会でも住み良い町にしようと様々な問題を協議しています。</p> <p>しかし、生活習慣の違いによるものか、ごみの分別と出し方、違法駐車はなかなか改善できません。これは地域で解決しなければならない問題ですが、良い方策が見つかりません。市長は「市民と行政が共に考え、行動するまちづくり」に取り組むと述べていますが、行政はこのような問題を地域に丸投げしていませんか。違法駐車や環境問題は西尾市の問題であります。</p> <p>これら問題について、西尾市はいかがお考えでしょうか。是非、解決に向けての知恵をお聞かせください。</p>	<p>【質問】 皆さま方には、外国人住民に配慮した住み良いまちづくりにご尽力いただいておりますことに感謝を申し上げます。</p> <p>生活習慣や言葉の違いにより大変なご苦勞をされていると存じますが、日本人であれ外国人であれ、良き関係を築く第一歩は、お互いを理解することだと思います。「問題解決に向けての知恵」ということでもあります。例えば、町内会のお祭りや鶴城ふれあいフェスティバルで交流していただく中で、順応能力の高い子どもを通じて、ゴミの出し方や駐車方法など西尾市で暮らしていく上での基本的なルールやマナーを身につけていただくことも一つの手法だと思います。また、日本人も外国人の考え方を理解することで、これらの地域活動が交流から共生に発展し、様々な問題解決にもつながると考えます。</p> <p>7月1日現在、市内には6,048人の外国人が居住され、今後も増加が予想されます。市では「外国人のための生活ガイドブック」、「家庭ごみの分け方・出し方ガイドブック」を始めとする多言語に対応した各種チラシの配布や定期的な外国人相談、やさしい日本語教室などによる支援といった多文化共生にかかる取り組みを全庁あげて推進しております。今後も町内会の皆さま方とよく連携を取り合って「住み良いまち」の実現に向け支援させていただきますので、お気づきの点がございましたら窓口であります地域支援協働課にご相談ください。</p> <p>なお、違法駐車を取り締まりにつきましては、恐れ入りますが西尾警察署交通課へご相談をお願いいたします。</p>	地域支援協働課 ごみ減量課 危機管理課

整理 番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課・連絡先
5	安心できる暮らしを支える健康 （地域医療）について 〔ハツ面〕	<p>【質問1】 「西尾市民病院中期計画」により市民に安心安全な医療が提供される とのことですが、産婦人科は休眠状態となっている中で、市民病院は西 三河南部の地域中核病院の役割を十分に担えるだけの医療体制の確立が 急務と思われれます。この問題につきまして「医師確保奨学金貸与制度」 により明るい兆しが見込まれるとのことですが、どのような状況である のかお聞きします。</p> <p>【質問2】 病棟の改修と高額医療機器の導入により、病院機能の向上と経営の健 全化を図っていくとありますが、病院機能に投資することで、なぜ経営 の健全化が図れるのか、その理由と見通しをお尋ねします。もし、この 手法がうまく行かなかった場合、これも西尾市の財政に負担になること はないでしょうか。</p>	<p>【質問1】 現在、医師は大病院を選択したり生活利便性の高い都市部に集中する 傾向にあり、地方の病院は医師確保で苦境に立たされています。その中 で医師確保奨学金貸与制度は、市長マニフェストに掲げ優先度の高いも のでございます。 この制度は医学生に対し奨学金を貸与し、医師免許取得後に西尾市民 病院に勤務していただくことで、安定的な医療供給体制の確立と地域医 療の充実を図ることを目的に、平成26年度から実施いたしました。そ の結果、昨年度は0人であった研修医を、今年度は3名確保することが でき、明るい話題となっております。現在、奨学金は12名の医学生に 貸与しており、卒業後は当院に確実に勤務していただけるものと期待し ています。 特に研修医を確保できたことは、夜間、休日の救急医療の前線で多く の救急患者さんへの初期対応ができることから、日当直の上級医師が重 症者の診察に専念できることや負担が軽減されることにより、皆さまに は今までより一層の安心かつ的確な救急医療体制を提供できるものと考 えています。 なお、産婦人科の分娩制限につきましては、大変ご迷惑をお掛けして おります。医療はまさに人的なサービスでありますので、引き続き1人 でも多くの医師を確保できるよう努めてまいります。</p> <p>【質問2】 病院建物は、移転新築後25年が経過し、老朽化、経年劣化も進んで おります。また、医療機器は、十分な投資が出来ないのも現実でありま して、新規に購入するものがある一方、耐用年数の概ね2倍の10年間 程使用しているものもございます。 しかしながら、施設の改修や長寿命化、入院生活の快適性の向上や医 療機器の導入・更新は、患者様が治療に専念できるように環境を整備 し、短時間かつ苦痛の少ない医療や正確な検査を行う上で必要不可欠な 投資と考えます。 また、最新の医療機器導入は医師などの医療スタッフが更なる的確な 検査や治療を行おうとする意欲の向上にもつながり、このことにより患 者様の信頼と安心感を高め、当院を利用していただくことにより経営健 全化につながるものと考えております。 今後は平成26年度末に策定しました「西尾市民病院中期計画」によ り、投資では患者様の信頼度や収益への貢献度、当院の特色に繋がるも のについて、計画的に投資を行い、経営の健全化につなげたいと考えま す。 さらに、必要な投資においては補助金や地方債を検討するなど西尾市 財政の負担にならないように努力してまいりますので、よろしくお願 いいたします。</p>	市民病院 管理課